

# 東郷村報

第75号

昭和33年2月10日  
発行所  
宮崎県東臼杵郡  
東郷村役場  
日向市富高  
安藤印刷所  
電話 64番

## 完納

### 村税を完全に 納付しましょう

昭和三十二年度も余すところ僅か一月余りとなりまして、これまで経済的悪条件と取組み日夜皆さんが奮心して納めて来た、昭和三十三年度の税金も愈々今月の固定資産税第四期分を以て納付してあります。

御承知の通り税は徴税令書に示してある納期日迄に納付することになっておりますが、諸種の事由により滞り、納付すべき金額の八〇パーセント程度しか納付されず、然かもこのように滞り、納付しないうちの滞納総額は、およそ六百万円余の多額となつて居る現状です。この様な多額の滞納は、村政面に非常に大きな障害を来すのみならず、若しこの滞納がなると、仮定すると校舎の棟ごらうり借金せよと建つたろうり村財政も一段と高まるものと思ひます。

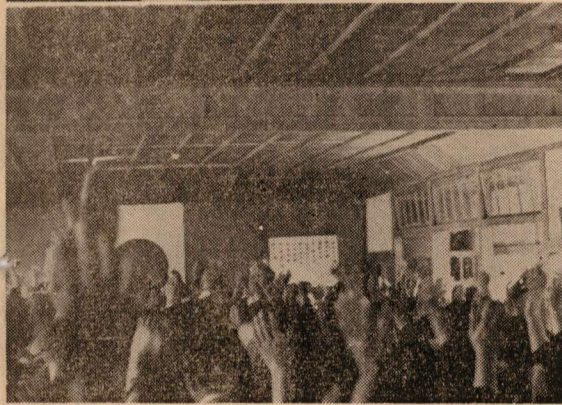
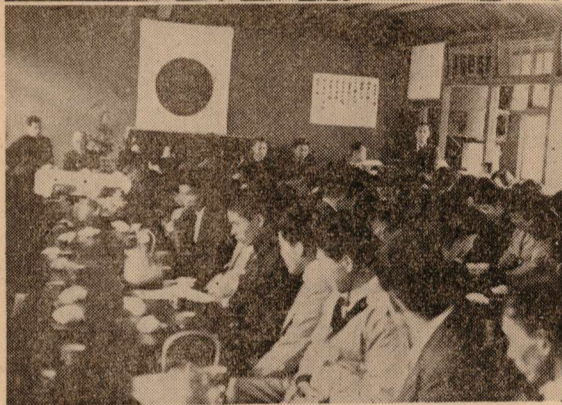
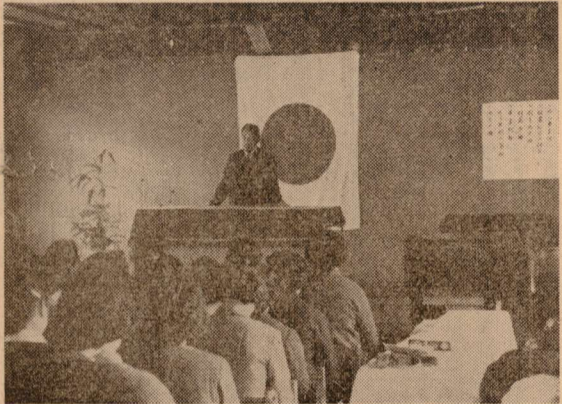
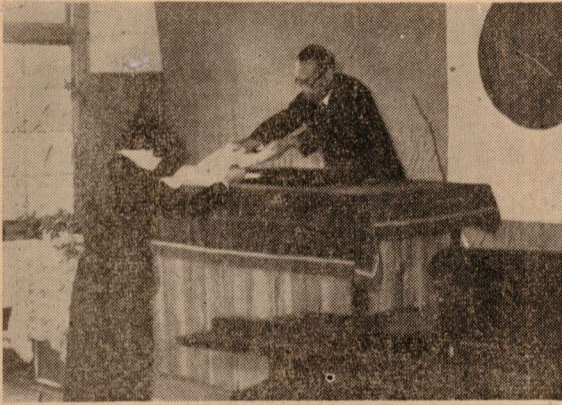
現在の滞納状況は以上の通りであり、考へないのではありませんが、従来例を見ますと、旧年末に完納しておられる方が相当数あり、この月、毎年の納税額が著しく伸びて居るようであり、この様な事情に鑑み、役場では、今般左記期間旧年末の完全納付期間として全職員を繰

### 成人式に思う

一月十五日の「成年の日」に本村第十回の成人式が行われた。本年成人に達する青年達は一五二名で、これ等の青年に対して成人証書と記念の柿樹が授与され、今年はその上「成人のしおり」が贈られた。成人の証書は成人に贈られた自覚と世の荒浪に打ちかたつて生きぬく青年の力を讃えるために授与し、柿樹は人生への前途を祝福しての贈物である。「成人のしおり」には、村長をはじめ先輩の方々の青年達に対する言葉が盛り込まれて居る。成人のしおりは、成人のしおりを授与された青年の心に深く刻み込まれて居る。成人のしおりは、成人のしおりを授与された青年の心に深く刻み込まれて居る。

### 成人式報告

戸毎にたてられた日の丸の旗が春の風にはためく一月十五日に本村の成人式が東郷小学校で行われて152名の青年に成人証書と記念樹が贈られた。青年達の顔は歡喜と希望にかがやいていた。式場に溢れた母親や先輩達は声を限りて万歳を叫んで青年の人生への前途を祝福した。



### 派出所だより

山陰部長 派出所

#### しし舞やお札売り を入れぬ用心

昨年五月、押売等防止条例ができてから、県下を立ち回らるる押し売りの数は相対減少して来た。条例をうらんで民営一致の防犯態勢で押し売り一掃の効果があらわれつつあるのは、まことにうれしいことである。しかし、それになお、昨年中に約九〇件、一〇〇名の押し売りを検挙して居る。このなかで一番多いのは、しし舞、きょう師、お札売り等がお金や品物を強要したり、暴行して検挙されたものが約六割で、過半数をしめ、単なる物品の押し売りで検挙されているのは四割にすぎません。当然に、この指導者として自ら他共に考へられて居る方々の参列の少いことは毎年のことながら本年も寂しい思いがした。

#### 交通安全防止について

昭和三十三年中の日向署管内においての交通事故発生件数は四十三件、死者十四名、負傷者四十五名にして、前年に比較して三件増、死者八名増、負傷者一名減となつており遺憾に堪えませ

#### 杉穂盗採の防止

造林意欲の昂揚に伴い造林面積も年々拡大される状況にあるが、その反面極度の苗木不足を生じたため他人の山林より杉穂を盗採して業者に売渡す者が続出して居る現状にあり、なおこの種の盗採は田舎では案外平然と行われる傾向もある。各地の造林地が極度に荒れ、甚だしきは杉穂の乱採により生育不能になる杉林もある。これ等杉穂盗採防止について警察でも厳重取締を行うこととなつたので左記事項について間違いないよう御協力を御願ひします。

#### 椿

静かなる椿の花よ葉ごもりに咲きてひさしき椿の花よ  
枯草のおどろがなかにひともの椿かがやく葉は葉の色に  
ひとものとの椿の花に寄りてゆくわらべたち見ゆ枯草がくれ  
椿の木に花は咲きみちあかつきの今朝の寒さに驚のなく

#### 救水

- 1、他人の山林に入つて杉穂等を盗採してはならないこと(森林法第一九七条により三年以下の懲役又は三万円以下の罰金)
- 2、特に保安林の区域内で窃取すれば罪が重い(森林法一八九条により五年以下の懲役又は五万円以下の罰金)
- 3、他人の山林より盗採されたものであるということを知りながら一般または業者等が
- 4、杉穂等を無償で貰つたり(收受)
- 5、杉穂等を運搬したり(運搬)

### 納税数え歌

長渡冠山

人の義務には数あれど、中でも貴きは税の義務。納税義務はいと易し、納税の義務果しませう。予算の素は税なるぞ、予算がなければ治まらぬ。いたらぬ元費は切り捨て、納税金に廻しませう。無理算段はしなくとも、日掛りの貯金にて、泣き言並べて嘆くより、ニコリ笑つて掛けませう。やすく掛け得る税金も、八重に重なりや重くなる。固ると小言をこぼすより、こまかな内に掛けませう。とうと督促されるまで、掛けずにおくと恥をかかぬ。

### ポンプ百より 火の用心 用心一つ

四月中旬選衡委員会において選衡の上決定する。五、備考

なお不明の点は村教育委員会事務局にお問合せ下さい。

### 教育委員会だより

十一月中旬に着工いたしました坪谷、福瀬両小学校舎建築も順調にすすみ、まして一月二十一日に坪谷小学校、二十八日に福瀬小学校の上棟式を終りました。竣工期限が三月二十日になつて居りますので、両校とも木の香も高い真新しい立派な講堂で卒業式を行うことが出来ます。

### 村奨学金貸与 申込について

本村の奨学金は次のよう  
な要領で貸与いたしますので  
希望の方は早目に村教育  
委員会に申込下さい。

- 一、資金の貸与を受ける者の資格
- (1)本村に本籍を有する者

# 希望の農業を

或る日。私は、小供のために幼稚園と言ふ雑誌を買つてかえつた。一心に見ていた子供は、喜びの色をかくしきれない様な顔で、「父ちゃん、こん本は俺でも作りさるどかい」と、聞きた。私は、「此の本は、それなら誰が作つたと思ふ？」と、問い返した。子供は「知らん」と答えた。私は、「この本は、人間が作つたんだから、お前でも一生けんめい作れば、作り切らんことはないぞ」と、教えてやつた。それから、六ツになる子供は、自分で立派なナアと思つた物なら、必ず「これは俺で出来るぞ」と、質問をする。その時私は「一生懸命にやらんと出来んけど、一生懸命やりさえしたら、お前でも出来んことはない」と言つてやる様にしている。この子供教育が必ず良いとは言えないかも知れないが、少くとも、子供の心に、何か自分の手で作り上げようとする考えが、生れて居る事は真違ひない様である。

「もう少し、寒い時期に米を作る事は出来ないか」とも、言えるだろう。これが、早稲米である。土の中の微生物は温度が高い程殖え、温度が高い程活動する。そして土の中の酸素を酸素が不足し、根の活動は抑制され肥料の吸収は極度に制限される。この結果秋落ちをするにもなる。温度のひくい時に稲を育てて完全に近い稲の生育をさせようと言うのが、早稲米稲を作る一つの目的であると考えよう。

こうして、私は、仕方がない、とあきらめていた事を、科学的に考え直して、六石どり稲作りを一つづつでも近づきたいものだと考へる。

## 東郷から

### はるばる長野県に

#### ☆農村の中堅青年の養成④

「三千貫の甘藷を作つたぞうな」  
「あそこの牛は、県で一等だったぞうな」  
こんな話を聞く、そして「何、あんちやから出来るといふや」  
「あんなに暮らしたら俺にでつた事のように言ひ、自分にはそのような事は夢の又夢みたいな考え方になる。この言ひ方が、この考え方が、果して真面目な考え

円、苗代や肥料、労賃等を差引いても純益十五万円からの収入のことだ。  
2、水田の作付様式は、その大部分が一年並木植で品種は農林十七号が多く、平均反収四石から五石、米作は田作りだと自給肥料の増産に躍起となつて居る。早稲田等は飼料作と他の作物に切替へ、適作主義で畜産の増産に努力している。

3、一家の周囲をみてみよう、宮崎県は台風の常襲地帯で家の周りは木や生垣でとり囲まれて居るが、あちらでは雑木は全く見受けず、リンゴ、クルミ、杏、柿等の果樹が植えられ、春は花を觀賞し秋は実をみて懐を温めている。又或る青年の家にいくと庭の片隅にダリア、カーネーションが綺麗に作られていた、青年団活動の小遣い稼ぎに作つて居るのだと云つていた。

1、「一人の母の記録」の映画で有名な長野県の養蚕地帯、桑園の改良から飼育法の改善等々の研究が婦人の手でなされて居る。又長野の婦人は貯蓄心が旺盛である。生活必需品は少々の益金も貯蓄して居るようだ。こゝでは農協改良普及員も農協に駐在し農村の婦人に深く入り込んで居る。農家のかまへは特別、とは言えないが、子供の勉強部屋から台所、便所等は婦人の計画貯蓄で次々と改善されている。

3、次に公民館ほどの部落にも設置された地域の文化センターとしての役割を遺憾なく発揮している。或る公民館を見学したが、丁度季節保育部を開設して居る。オルガンは勿論のこと紙芝居、幻灯機、絵本など子供の楽しめる道具は殆んど完備しており、給食なども実施されている。

公民館は何と云つても地域住民の寄所として青年や婦人の研修の場でもあり、講習会や講話会に必要な内容と設備が完備されている。青年や婦人の合同会を度々行つて居るようだが、婦人会は青年を如何にして活動しやうかという環境をつくらせようとする努力がなされ、その力としての役割を果していることだ。

2、青年団は組織活動が非常に活発である。町村から市郡段階、県段階と連合青年団を組織している。最も力を注いで居るのは広報活動である。毎月「信州青年」を発行し末端への浸透を図つて居る。  
「仲間づくり」はこれ又真剣で一人でも多くの仲間をつくり、大きな力と云ふ苦しみも解決しようとする。だからここでは自然、仲間意識が高まり活動の主体はグループである。どの青年に聞いても、どのグループに接しても発刺と生々とした希望に燃えている。青年同志が道ですれ違ふときよく挨拶を交すのには感心した。何か重大な事にでもなると、どんな忙しいときでも道端の草の上には或は唾に腰をどつかつたり熱心に議論したり研究したりしている。尚長野の青年達は政治に対しても実に積極的であり原水爆の実験禁止等にも参画している。

3、食生活面では毎日朝、昼、晩あつた味噌汁を食べること。たいがいの家は山羊か、乳牛を飼つて居るのでお茶のかわりに乳を吞せて貰つた。又長野の人達は大変お茶を好んで居る。  
以上色々面に亘り記したが、長野県人は総じて1、理屈っぽいこと。2、算盤勘定が高いこと。3、よく勉強することだ。さてこの研修で一番困つたことは眠たかつたことだ。

5分間から始めてだんだんと陽に当たる時間を伸ばして十日目頃には部分から上げて十分間程当てるようになります。赤ちゃんと腹はぽかぽかになるようにすれば胸腹ばかりでなく胸と腹十分脊中十分というように背中にも当てておきましょう。なお帽子をかぶせ頭や顔には日光が当たらないように注意下さい。

赤ちゃんと体操 赤ちゃんと裸にした時の喜びよう。両腕を両脚を思ひまゝ自由に動かして喜びに頬をはらばせさせておきましょう。お母さんのひざの上になつておぼろげに足をびんびんつたつてウーウー声を出して喜んで居る赤ちゃん、赤ちゃんはこんなにも運動を欲しているのです。それなのに我が国では赤ちゃんは着物でぐるぐる巻かれて一日

1、新生活運動としてこちらで新盆や正月の一本化を叫んでいるが、あちらでは何んの不自由もないの青年団を組織している。最も力を注いで居るのは広報活動である。毎月「信州青年」を発行し末端への浸透を図つて居る。

## わたしの提唱

納税につとめよう  
本村が納税整理に乗り出した、もう何年になるのだから、声をかりして納税を村民に訴へ、益々新田前期には納税の一律徴収を行うなど役場ではあの手この手で徴税につとめようといふが一向その実績はあがらないで酒はたらくのみ、煙草は思う存分に吸つて居るような者もいるのではなからうか。こんな人自身はとくと考えていたが、納税を納している者の中には税金を納して煙草をやめて納税している者もいることだ。  
お互がより立てていかなばならぬ東郷村ではないか。その村の原動力となる税金は何とかしておさめることにしようではないか。(一村民)

文化生活は家族計画から  
中野かされて居るか、又は母親の背中にくくりつけられて居るのです。赤ちゃんをしばりつけてばかりいないで手足を自由にのびさせて下さい。そばから手を貸して赤ちゃんの運動を助け上げて下さい。  
お父様方もどうかこの問題に御協力下さいましてお母様の健康を守りたわつて上げて下さい。

婦協・青協だより  
して選ばれた。  
黒木 福義(寺迫)  
橋口 勝幸(寺迫)  
矢野 明(仲深)  
三、婦人共進会  
二月二十三日は門川中学校で婦協の婦人共進会が開かれます。各村から選出された方の研究発表があり又製作品展もありまして、この最優秀者として入選品が共進会に出場することになります。多数の御参加をお願いいたします。県の共進会は三月六日、七日の両日です。

一、産業振興青少年大会  
一月二十六日日本村で郡の産業振興青少年大会が開催されて、東郷村代表の予選を行つた。その研究事項と氏名は  
私達のクラブ活動  
越表 海野 俊男  
水稲の後作栽培について  
寺迫 海野 清房  
天地がえしによる赤ホヤ  
追ノ内 前田 福美  
衣の生活改善  
追ノ内 松尾八重代  
大豆コロッケの作り方  
福瀬 中野さち子

二、郡市対抗伝予選会  
一月十九日に二月二十二日、二十三日両日行われる高千穂宮崎間の駅伝に出場する郡代表選手予選会が日南市小野田間で行われた。十二名の代表の中に本村からは、左の三名が正選手として、泉伝に代表と

しも柱  
東郷小 糸平 邦功  
けさ僕が道をあるくとジャリジャリと音を立ててしも柱がたおれていく。くつはつめたそうにしも柱の中に、おしこめられる。そして一歩前に行く。くつは今年になつてはじめてしも柱の中にはいつた。

後記  
裏の蕪園に毎朝のように霜が真白におりておりに、厚い水がはつて居るが、空の雲に、山の色に水の流れるは、ことごとく春の訪れがほのかに感じられる。春を待つ心は一日と深かまつていく。

編集  
今年正月を新曆に切替えた家が多かつたが、それでもまだ旧曆で正月を祝うものが相当数あるようである。来年は全村新曆に切替えたものと思つて居る。

青年の県産振興大会に郡代表(十名)のうち五名本村青年が出場した。また、県産振興に郡選手(一二名)の内三名出場することとは本村青年の歩みの一歩を表すものとして、代表の健闘を切に祈りたい。

東郷小 勝  
すずめ  
うらの竹やぶで  
すずめがチュンチュンチュン



すずめ